



園だより6月号

Keiaigakuen
君がここにいるから

敬愛高倉保育園

<http://www.keiaigakuen.com>

2026. 5. 29

♪ コチコチカッチン おとけいさん コチコチカッチン うごいてる
こどものはりと おとなのはりと こんにちは さようなら
コチコチカッチン さようなら ♪



紫陽花がきれいに色づき始める季節となりました。

まもなく雨の多い季節となりますがこの時期ならではの自然に触れたり、お子さまとやりたい遊びを考えたりして充実した日々を過ごしてまいります。

また6月はミニプレイデー、アートデー、鍵盤ハーモニカコンサートとわくわく楽しい行事もあります。季節の変わり目でもあるので、健康教育や食育などを通じて、自分の身体を大切にする習慣や丈夫な身体作りをしていき、お子さまが主体的に活動できるように保育してまいります。

◆健康教育「^{いのち}生命の健康教育」◆

敬愛学園の健康教育では「自分の身体は自分で守ること」を目標にしており、幼児組のお子さま対象に「生命の健康教育」を実施することになりました。6月は「性器の洗い方」「ラップタオルを使った着替え方」についてお話をいたします。

◆歯科検診◆



6月4日(木) 10:30~

小川歯科医院の小川祐先生が検診していただきます。年に一度の検診です。なるべくお休みなさらないようよろしくお願い致します。

◆職場体験受入◆

保育士を目指す学生の保育実習の職場体験を行います。

- ・こども教育宝仙大学 2年生 2名
6月8日(月)
- ・白百合大学 2年生 1名
6月 毎週火曜日
10月・11月 毎週火曜日

プライバシーポリシーを守って保育にあたるよう指導してまいります。保育園は次世代の保育士を養成する機関でもあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆お願い◆

○駐車場について○

駐車場は園舎前6台分と新田公園側手前から5台分となっております。

【8:00~8:30】【17:30~18:00】は混み合いますので、幼児クラスの保護者の方は新田公園側のご利用のご協力をお願いいたします。

また、台数に限りがある為、送迎後は速やかにご退出いただき、スムーズな入れ替えにご協力をお願いいたします。

安全の為駐車中はエンジンを止め、アイドリングストップにご協力ください。

◆6月の予定◆

6月以降の予定はアプリ「さくら Days」のカレンダー、行事一覧にてご確認ください。

◆SDGsの取り組み◆

●ゴミ分別体験●

敬愛高倉保育園では、遠い世界で起きていることを自分の生活と重ねて考えられるお子さま、主体的に行動を起こせるお子さまに育ってほしいと考え、その学びを実生活や社会を変えることへと繋げていくことができるよう活動しております。SDGsの17の目標達成を目指し自分たちの住む環境に興味を持ったり、できることを考えたり、世界の国々に興味を持つことができるような活動を行っています。

5月9日(土)には八王子市の方に来ていただき、ごみの出し方や資源物の分別、ごみの減量方法などを保護者の方と一緒に学ぶことができ充実した時間を過ごすことができました。ご参加いただいたご家族の皆様、ありがとうございました。



●みんなでクリーン大作戦●

6月24日(水) 10:00 から、全クラス
園周辺や公園などでゴミ拾いを行います。自分達が住んでいる街、地域をきれいにする活動を通して「ポイ捨てしないこと」「自分達の住んでいる街を大切にすること」を学べる機会にしていまいます。ぜひお時間がある保護者の方はお子さまと一緒にSDGs活動に参加されませんか？参加ご希望の方はクラス担任までお知らせください。



●生活素材を集めます●

6月11日(木) から6月18日(木) までの間、玄関前に回収ボックスを設置いたします。ご家庭にございましたらお持ちいただきお子さまと一緒に分別をして入れてください。今回集めるものは、「お菓子やティッシュなどの空き箱」「ペットボトルのキャップ」「ラップの芯」「R-1 くらいの大きさのペットボトル」(洗って乾かしてからお持ちください)です。ご協力お願いいたします。

●生活素材遊び●

お菓子の空き箱、ラップの芯、ペットボトル、ヨーグルトカップ、お肉のトレーなどご家庭では「ごみ」として捨てられてしまうのも、お子さまにとっては“わくわくする宝物”です。園ではこのような身近な廃材を「生活素材」と呼び、日々の遊びの中に取り入れています。

生活素材遊びには、「何を作ろう？」と考える創造力や発想力、「どうしたらうまくいくかな？」と工夫する試行錯誤する力、夢中になって遊びこむ集中力や意欲、「できた」「認めてもらえた」という自信に繋がる自己肯定感など、お子さまの成長につながる大切な学びがたくさん詰まっています。

特に大切にしたいのは、“完成品”ではなく、作るまでの過程です。「この形おもしろい」「これとこれを組み合わせたらどうなるかな」と発見しながら試していく時間こそが、お子さまの豊かな感性を育てています。

小さいお子さまは、まず素材に触れて感触を楽しみ、成長とともに、見立て遊び、積み重ねる、組み合わせる、切る、貼るなどと遊び方がどんどん広がっていきます。

お子さまが作品を持ち帰った際は、「どんなところを工夫したの?」「ここ素敵だね」とぜひ声をかけてみてください。

生活素材はお子さまの創造力と感性を育む“最高の素材・宝物”です。これからもお子さまの豊かな発想を大切に、主体的に感じて考えて探求する活動をしてまいります。